



# 全員集合

海部小学校



## 海陽町議会だより

6月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164  
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **25** (2012.8)

おもな内容

就任のあいさつ	2P
行政報告	10P
一般質問	11P
委員長報告	14P
みんなの広場	16P

# 就任のあいさつ



議長

南谷 輝幸

5月21日の臨時議会において、議員各位のご支援を得て、海陽町議会議長の要職に就くことになりました。限りない光栄であると存じますと共に、その責任の重さをひしひしと感じている次第でございます。

人口減少、高齢化など大きな課題の中、将来にわたり住民がこの町に住んでよかったと感じられる「町づくり」を推進する事が、地方議会の使命であると思っております。

議長として公平・公正を目標に議会運営を行い、執行機関の行政運営が住民の立場、目線で効率的に行われているか監視しながら、各議員と共に海陽町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指し努力してまいります。

今後とも町民の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



副議長

叶岡 徹

この度、議員各位のご推挙をいただき、副議長に選任されました。

現在は非常に厳しい社会状況にありますが、私の信念であります町民のために働く町議として、町民の声を町政に届ける役目を果たしてまいります。

また、議長を補佐して、内容のある充実した議会に取り組んでまいります。

今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。



## 議長と副議長の役割

議長と副議長は、議員の互選で決まります。  
議長は、町議会の代表者として、議会の秩序を保ち、会議を円滑に進めたり、議会に関する事務の処理等を行います。また町議会の代表として、いろいろな会議や町の行事などに出席します。  
副議長は、議長が事故などで欠けたときに、議長の職務を行います。



## 常任委員会の役割

本町議会では、現在「総務」「文教厚生」「産業建設」の3つの常任委員会を設置しています。町の業務を3つの所管で担当し、専門的に効率よく審査を行います。議員は、1つの常任委員会に所属し、任期は2年です。

# 議会構成決まる

◎委員長 ○副委員長

## 総務常任委員会

庶務、財務、財産管理、税務、消防防災、企画及び住民登録に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項



小山 慎

○長尾 正大

◎池下 嘉郎

原 ひろみ

見吉 政貴

議長 出席議員  
南谷 輝幸 13名  
西山 幹男

3 10  
票 票

議長の選任は投票の結果つぎのように決定した。

## 文教厚生常任委員会

教育、文化、福祉及び保健衛生に関する事項



三浦 茂貴

○島崎 勝弘

◎長岡秀一郎

白濱 輝二

叶岡 徹

副議長 叶岡 徹  
なお、議長については  
海部郡議長会会長就任  
徳島県議長会副会長就任

副議長の選任は指名推選で決定した。

## 産業建設常任委員会

産業経済、土木建設、環境衛生、観光及び上下水道に関する事項



南谷 輝幸

○戸田真理子

◎高島 武夫

西山 幹男

富田 一廣

## 議会運営委員会

- ◎ 白濱 輝二
- 三浦 茂貴
- 高島 武夫
- 池下 嘉郎
- 長岡秀一郎
- 叶岡 徹

# 海陽町子どもあゆみ条例の制定

## 10億円の基金を積み立てる



いっしょにあそぼう（げんきひろば）

急速な少子化にともない、安心して子育てができ、子どもの成長の環境を整備し、子どもの未来に夢や希望を持てる町を実現するための条例です。

10億円の基金を積み立て、10年間の計画で施行されます。

### 基本理念

- 1 保護者が子育ての責任があることを前提に、地域全体で育てること
- 2 仕事と生活の調和に配慮すること
- 3 子育ての理解を深め、喜びが実感できるように配慮すること
- 4 子どもが健やかに育つことができるように配慮すること
- 5 結婚、出産、家庭、子育てに対する考え方が、尊重されるように

施策の内容については、「少子化対策審議委員会」が置かれ検討されていきます。

### 子どもの医療費の助成拡大

乳幼児等医療費の助成を現在の12歳から15歳に拡大します。名称が「乳幼児医療費」から「子どもあゆみ医療費」に変わります。8月1日からの施行です。

## 海陽町ふるさとの水を守る条例の制定

町民共通の財産である水資源を未来にわたり保全するため、水資源の採取者の責任を明らかにし、保全地域の指定、その他必要な事項を定め、ふるさと海陽町の水を守り、町民の健康で快適な生活環境を確保する条例です。

### 『町への許可要件』

- 水または湧水の摂取が、一日当たり20立方メートルを超えるもの（2カ所以上は摂取量の合計）
- 地下水の摂取が、揚水機（吐き出し口の断面積が6平方センチメートル以上のもの）を設置して行うもの

☆摂取の目的が生活、農業用の場合は、許可を受けなくてよい

☆すでに摂取している方は、許可を受ける必要はない

8月1日からの施行。

# 神野橋架け替え

## 予備設計費に

# 2300万円

**現**

在の橋は1963年に架橋され50年経過していることによる架け替えです。

50%は国費の道路整備交付

金です。

事業期間は5年から6年の  
予定。

総事業費約5億円〜7億円

(橋の形式等により変動)。

24年度では利便性・経済性・

安全性・施行性などを考慮し

て調査測量・予備設計で架橋

位置を決定します。

神野橋架替ルート(案)



神野橋



# 国民文化祭

## 「まちが奏でるクラシック in海陽町」950万円

**今** 秋、全国で初となる2度目の国民文化祭が徳島県で開催されます。

海陽町では「まちが奏でるクラシックin海陽町」と題して、11月

5日、とくしま記念オーケストラを招いてのクラシックコンサートを行います。曲中には地元合唱団（童謡を歌う会たんぼぼ、ときわ童謡クラブ）と地元三味線 お鯉の会との共演もあります。

事業費の950万円のうち、町の負担金は73万8750円（チケット収入により変動）です。本格的なオーケストラの音色と地元団体とのコラボを是非お楽しみください。



◆ 公演日 ◆  
平成24年11月5日(月)

◆ 会場 ◆  
海南文化館

## 海南太鼓革張り替え

### 250万円



**平** 成2年に設立し、現在小学生から大人まで約30人の部員がいる海南太鼓の革の張り替えを14台分予算計上しました。全額一般コミュニティ助成事業（宝くじ助成金）。この助成金は地域の伝統文化の振興と継承、そして地域のコミュニティ活動の充実と強化を図ることを目的とするもので、海陽町内の文化振興に大きく役立っています。

## 突喰図書館雨漏り補修 81万円

**海** 陽町立突喰図書館は、平成11年に建設された建物で、玄関横のコインロッカー上部と一番奥の天井一部、計2カ所の雨漏り補修です。



# 屯所防水補修工事

## 154万8000円



突喰第2分団



川上第3分団

**鉄**

筋コンクリートの建物であるが、亀裂が確認され、天井がはげてくるなどの、雨漏り被害が出ています。老朽化による雨漏りの補修です。

# 屋上への避難階段 海南小・海陽中学校 設置設計委託料 各202万7000円

**津**

波避難所整備のため、地域住民からも要望のある学校の屋上に向けて、外からの避難階段を取付けていきます。



海南小学校



海陽中学校

# とくしま明日の農林水産業づくり

## 突喰漁協

## フォークリフト

### 170万1000円

**こ**

これまで使っていたフォークリフトのエンジンが止まったり、誤作動をおこすトラブルにより、魚の荷揚げや出荷が遅れがでています。

運搬の効率化、事故防止のために新しく買い替えます。

(内訳 町費56万7000円+県費48万6000円+漁協64万7000円)



## 塩深農産組合省力化機械

### 動力噴霧機63万円

**米**

や畑等に対しての農薬散布の機械です。

広範囲の面積をリモコンを使うことにより、高齢者が1人でも作業でき、効率化がはかれます。この地域では初めての導入となります。

(内訳 町費6万3000円

+県費18万9000円+農産

組合37万8000円)



## 要望書 陳情書

東日本大震災以後、津波の想定高が引き上げられ、さらなる避難場所の整備が求められているなか、要望書・陳情書が提出されました。

- ・ 宍喰浦西北地区72名、浜北地区164名より津波避難タワー設置の要望書

- ・ 宍喰浦正梶自主防災会63名の津波避難所整備に関する陳情書

議会で審議の結果異議なく採択しました。

## 人事案件に同意



辻 芳昭氏  
よしあき

### 人権擁護委員の推薦

任期満了にともない、現職である辻芳昭氏を推薦することに同意しました。任期は3年です。

## 意見書

外国資本による土地買収を制限する  
法整備を求める意見書

我が国は、外国資本による土地買収が自由に行なわれています。  
国民の生活を守る上でも、外国資本による土地買収を制限する法整備を行なうよう強く求めます。(要約)

### 提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 国土交通大臣
- 法務大臣
- 外務大臣

## 議会のしぼりか

4月1日から6月30日まで

### 4月

- 9日 徳島県議事長会本部役員会
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 25日 議会広報編集特別委員会

### 5月

- 11日 議会運営委員会
- 18日 第21回徳島県町村議事長会議員研修会(美波町)
- 21日 第1回臨時会
- 29～30日 第37回議長・副議長研修会(東京都)

### 6月

- 6日 議会全員協議会・議会運営委員会
- 11日 第2回定例会(1日目)
- 11日 議会運営委員会
- 11日 総務常任委員会
- 12日 文教厚生常任委員会
- 13日 産業建設常任委員会
- 14日 第2回定例会(2日目)

# 第2回定例会

## 議案の審議

平成24年第2回定例会は、6月11日から19日までの9日間の会期で開催しました。

この定例会では、平成23年度の一般会計補正予算・特別会計補正予算、繰越明許費など17の専決処分の承認、条例制定、改正、平成24年度一般会計補正予算・特別会計補正予算や人事案件等を審議し、いずれも原案の通り可決しました。

## 承認関係

専決処分の承認を求めることについて

- 平成23年度一般会計補正予算(第5号) 5億6,697万7千円 ↑
- 平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号) 1億1,687万9千円 ↓
- 平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号) 1,000万4千円 ↓
- 平成23年度介護保険特別会計補正予算(第4号) 274,872千円 ↓
- 平成23年度浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 187万円 ↓
- 平成23年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 79万8千円 ↓
- 平成23年度宍喰公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 116万8千円 ↓
- 平成23年度神野農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 68万円 ↓
- 平成23年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 126万円 ↓
- 平成23年度日比原農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 250万円 ↓
- 平成23年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 59万円 ↓
- 平成23年度川西簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 131万円 ↓

注釈 ↑ 増額 ↓ 減額

# 第1回臨時会

平成24年第1回海陽町議会臨時会は、5月21日開会、次の議案が提出され、審議の結果原案どおり可決された。

## 承認関係

専決処分の承認を求めることについて

税条例の一部を改正する条例  
国民健康保険税条例の一部を改正する条例

## 条例関係

専決処分の承認を求めることについて

海部川清流保全基金条例  
平成24年度海陽町一般会計補正予算(第1号) 180万円 ↑

## 条例関係

- 子どもあゆみ条例
- 子どもあゆみ基金条例
- ふるさとの水を守る条例
- 住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 課設置条例の一部を改正する条例
- 乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 徳島県市町村総合事務組合規約の変更について
- 徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

## 予算関係

- 平成24年度海陽町一般会計補正予算(第2号) 11億6,609万5千円 ↑
- 平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 830万円 ↑
- 平成24年度鉄道経営安定基金特別会計補正予算(第1号) 233万1千円 ↑
- 平成24年度海南病院事業特別会計補正予算(第1号) 390万円 ↑

## 人事関係

人権擁護委員の推薦について

住所 海陽町大里  
氏名 辻 芳昭

## 6月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	補正前	6月補正	構成比率	歳出	補正前	6月補正	構成比率
町税	6億7,617万2千円	0	9.3	公債費	10億2,289万8千円	0	14.1
分売金・食料金	9,508万円	0	1.3	民生費	16億3,222万2千円	502万6千円	22.1
使用料・手数料	5,175万4千円	0	0.7	総務費	8億9,617万8千円	83万4千円	11.1
繰入金	42万円	10億4,917万8千円	13.8	教育費	5億2,867万2千円	2,252万9千円	7.6
繰越金	1,000万円	0	0.1	消防費	3億5,473万9千円	8,742万6千円	6.1
諸収入	5,708万3千円	1,000万円	0.9	衛生費	5億3,730万7千円	25万5千円	7.4
地方譲与税	6,980万円	0	1.0	農林水産費	3億7,868万8千円	1,073万3千円	5.4
地方交付税	37億5,495万9千円	3,656万7千円	52.1	土木費	6億5,785万6千円	3,510万円	9.5
国庫支出金	3億8,388万7千円	2,583万5千円	5.6	商工費	9,534万3千円	419万2千円	1.4
県支出金	3億8,852万1千円	1,427万5千円	5.5	議会費	7,937万5千円	0	1.1
町債	4億5,320万円	7,450万円	7.3	その他	4,008万2千円	10万円	14.3
その他	1億6,692万4千円	0	2.3	合計	61億780万円	11億6,609万5千円	100.0
合計	61億780万円	11億6,609万5千円	100.0				

※歳入のその他内訳

財産収入	4,257万4千円
利子割交付金	290万円
配当割交付金	260万円
株式譲渡所得交付金	55万円
地方消費税交付金	8,790万円
自動車取得税交付金	1,530万円
地方特例交付金	190万円
交通安全特例交付金	140万円
寄付金	1,180万円

※歳出のその他内訳

災害復旧費	1,243万6千円
予備費	1,273万6千円
諸支出金	10億1,491万円

# 行政報告

町長 五軒家憲次



## 少子化対策に基金10億円

ているという報道を聞く。水源林の保全は国の

安全保障上、重要である。

水源を守るべき水資源保

全『ふるさとの水を守る

条例』を制定すべきでは

ないのか。命の水・おい

しい水・美しい水は、子々

孫々まで繋いでいかなければならないという強い

決意から提案している。

少子化対策としての

『子どもあゆみ条例』町

の大きな目標の1つに

「赤ちゃんから生気ある

長寿へ」というのを打ち

出している。

活力源が子どもである

という見地から、政府は

社会保障と税の一体改革

を掲げている。政府の案

は待機児童の解消を目指

しているが、少子化問題

の解決には出生率を増や

すことがまず必要である。

出生率アップと子育て

へのサポート、そして仕

事と生活の調和（ワーク

ライフバランス）。この

3つが人口増の大きな要

素だと考える。10年間

10億円を目指してやりた

いと決断をした。決して

一過性を望んではないな

い。「三つ子の魂百まで」

と言われるように、幼児

期からの英語教育、防災

教育、そして15歳まで医

療費助成をスタートさせ

たい。審議会をつくり十

分検討し、個性ある、こ

だわりのある本町の少子

化対策を作っていければ

と思っている。

自主財源の要である町

税、納税は当然の義務で

ある。その義務を履行し

ていない滞納徴収は、滞

納機構等に委任をしてい

るが、町独自で実態調査、

一過性を望んではないな

い。「三つ子の魂百まで」

と言われるように、幼児

期からの英語教育、防災

教育、そして15歳まで医

療費助成をスタートさせ

たい。審議会をつくり十

分検討し、個性ある、こ

だわりのある本町の少子

化対策を作っていければ

と思っている。

自主財源の要である町

税、納税は当然の義務で

ある。その義務を履行し

ていない滞納徴収は、滞

納機構等に委任をしてい

るが、町独自で実態調査、

保険の差し押さえなど実

行段階に入っている。税

の公平を維持せんがため

に、徴収にも力を入れ

ている。

政治の貧困、指導者の

劣化は国を滅ぼすという

格言がある。最近の国政

の停滞、混迷は虚しさを

感じ、危惧の念が絶えな

い。

我が町だが、葛藤の6

年が過ぎ、4月から7歳

になった。小学1年生、

ピカピカのランドセルを

背負ってと言いたいところ

ろだが、そんなところで

はない。副町長も1年生。

私も老いたる虎ではある

が、加齢に負けずムチを

打ち続けている。

防災・減災対策では東

日本大震災後、国・県は

千年に1度の最大級の想

定をしている。冷静、真

摯に受け止め、適度に恐

れることが重要である。

自分が数十年言い続け

ているのは、「想定ハザー

ドマップは大いに参考に

すべきだが、確たるもの

ではない」「自ら判断し、

1分、1秒でも早く逃げ

てください」公は的確な

情報を提供する。これが

生命線である。

ただ、前兆現象を早く

把握することにより予知

は可能で、そうしたこと

から、竹ヶ島沖にGPS、

波浪計も設置をした。地

震津波観測監視システム

も早く完成させ、BCP

(業務継続計画)も樹立

させたい。

外国資本等による森林

買収が日本各地で行われ



子どもたちの未来に (げんきひろば)

# リビエラ、遊遊NASAでの 地元食材の利用状況は？



長尾 正大 議員

〈産業観光課長〉地魚の利用は全体の8割程度



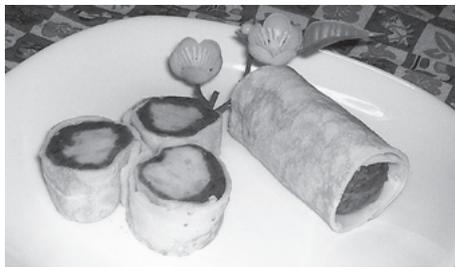
地元食材を使った「和」事業（食育ひろば）

**問** 元気になる「和」事業で、海陽町出身の事業で、海陽町出身の

**答** 元気になる「和」の事業による六次産業の推進の中で、一次の安心・安全農業、二次の特産品の開発などに取り組んできた。それと三次の販売も積極的に関わり組むことが町の産業活性化に繋がると考えられる。

**問** 入賞作品5点の商品化は、町内の菓子製造業者

有名な料理研究家にも審査していただいた「カラダに美味しい海陽の元氣なおやつをつくらう！」でレシピの公募を行った。「元気になる和だより」でレシピ集作りや商品化をすると案内されているが、それら取り組みは現在どのように進んでいるのか。



浜内千波賞「もっと出世いも」

**答** 歌産業観光課長

入賞作品5点のレシピについては、すでに町のホームページで公開している。残り23点についても順次公開していく。入賞作品5点の商品化は、町内の菓子製造業者

に提案している。

**問** 「和」の事業の、特殊な冷凍技術を活かした商品は、主に海陽町外の購買者向けになると思われるが、町外向けの販売ルートはどのようになっているのか。

**答** 産業観光課長

昨年引き続き、商品化と町外への販売開拓に取り組んでいる。魚介の刺身、煮付け、焼魚用切り身、アジ南蛮漬けなどを売り込み中。

町外に提供するには、安定供給とロット数、輸送コストの削減をクリアする必要がある。

**問** すぎのこ市場の継続にあたり、問題点解決にどのような対策を考えているのか。

**答** 産業観光課長

基本的には売上アップと経費の削減。町産品販売へのこだわりや納入生産者へのアピール。新た

に漁師の市の開催も検討している。人件費やその他経費など、運営努力による経費抑制を検討する。

**問** 有機農業の技術を習得する海陽町の農業振興事業「海陽町元氣農業研究会」の取り組みが、「第17回全国環境保全型農業推進コンクール」で奨励賞を受賞した。それについて、「今後の一層の取組強化が期待される点が評価された」とのコメントをしているが、今後の一層の取組強化とはどのように考えているのか。

**答** 産業観光課長

今、消費者は安心・安全は当然のこととして、エコ農産物や味の良さを求めている。海陽町が進むべき道は①地域の環境・資源を活かした循環型農業の育成②地域ブランドとなり得る製品の絞り込み

③中心的な農業担い手の育成と考える。

**問** 現時点で、町所有のホテルでは地の魚、野菜の利用状況は？「和」の事業で推進している一次産業のアピールはどの程度できているのか。

**答** 産業観光課長

（株）漁火は宍喰漁協、鞆浦漁協の入札権を有しているため、ほぼ毎日入札に参加している。ホテルリビエラらしく、遊遊NASAにおける地魚の利用は、全体の7割から8割程度。米もJAかいふルートで町内業者を利用しているため、ほぼ100%町産米と聞いている。野菜類については、安定供給に難があるので使用料は少ない。地産食材の説明など、きめ細やかなサービスによって町の産業をアピール出来るよう、ホテル側と協議を進めたい。

# 学校の窓に飛散防止フィルムを貼れないのか



原 ひろみ 議員

## 〈教育次長〉 検討すべき課題



津波避難訓練（海陽中学校）

**答 睦内教育次長**  
全国でも非構造部材の定義や基準が統一されていないため公表するにいたっていない。町民体

**問** 当町では、震度7の三連動の地震が予測される中、避難所となる学校や体育館などの非構造部材（天井、内壁、照明器具、窓ガラスなど）の耐震化は進んでいるのか。また、その耐震点検はできているのか。

東日本大震災では子どもたちの命を守り、地域の防災拠点として学校の重要な役割が認識された。

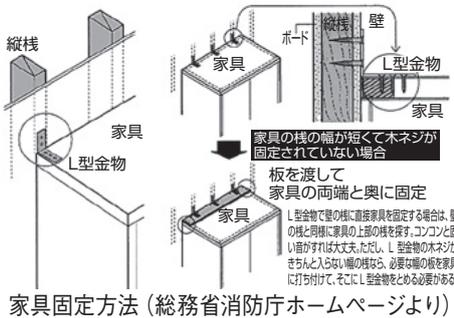
**答 教育次長**  
大きな揺れが想定される本町においては、子どもたちの安全を守るために検討すべき課題だと考える。

**問** 子どもたちの安全と避難路を確保するために教室の廊下側の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼れないのか。現状はどうか。

育館の耐震工事では、天井の吊り照明灯等にチェーンを取り付ける等、落下防止対策を図っている。学校においては、現場の教師達が普段、目視で施設の点検をしている。

## 転倒防止器具の一部助成は？

〈企画防災〉 今後検討



**答 企画防災課長**  
各家庭においての対策

**問** 高齢者や障害者世帯、未就学児のいる世帯を対象に一部助成する予定はないのか。また、ポランテアに取り付け依頼はできないのか。

**答 谷岡企画防災課長**  
各家庭においての器具の設置状況は、把握できていない。公共施設においては、今後現状を把握して、必要に応じて対応を図っていく。

**問** 家具などの転倒による事故防止、避難路確保のために家庭、学校、役場等各施設での転倒防止器具の取り付け状況をチェックできているのか。

## 成人肺炎予防接種の公費助成を

〈保健福祉課長〉  
国・県等の動向を注視

**答 奥原保健福祉課長**  
23年1月から12月までで43名。

**問** 高齢化の進む町での肺炎で死亡した人はどの程度いるのか。

肺炎は日本人の死因の第4位。全国で100万人が罹患し3万人が死亡。その95%以上が65歳以上の高齢者で占める。

は「自助」の部分であり、現状では単独での助成制

入院する人が増えれば、医療費も増加する。予防しておけば苦痛を味わう人も少なく済み、医療費も節減でき、死亡者数も減少する。元気で長生きしたいと誰もが望む。高齢者の命を守るためにも、予防接種への予算をつけていきたい。

**答 保健福祉課長**  
当然、救える命を救うということはあるが、接種を受けることによる副作用の問題が懸念される。国・県の公共団体、また医師会等の団体の動向を注視しながら研究していきたい。

**問** 肺炎球菌の感染予防にはワクチンの接種が有効。5年間効果があり、免疫力の低下しがちな高齢者には必要。その費用は約8000円。現在全国で720の自治体が公費助成をしている。予防注射して救える命があるならすべきと思うが町はどのように考えているのか。

度はないが、今後検討していく。

一般質問



三浦 茂貴 議員

## 避難路の夜間照明対策は？

〈企画防災課長〉  
計画的に整備していく

**問** 海陽町に避難路が何カ所あり、そのうち照明が整備されているところは、何カ所あるのか。

**答** 企画防災課長  
町の防災計画で指定している。一次避難所は、約60カ所。災害用として蓄電池を備えた照明は34カ所、手すりは、高台など

不要な場所を除いて約40カ所設置している。

**問** 指定されていない場所も含めて、簡易なものでも良いので、対応していただきたいがどうか。

**答** 企画防災課長  
今後、国、県より報告される浸水区域や浸水高を参考に、計画的に整備していく。

## 国道の信号機を連動するよう要望して欲しい

〈建設課長〉  
信号機により調整することは困難



ピア海部前交差点

**問** 脇ノ宮方面から来る道と、ピア海部の入り口とが国道と重なって、ちょうど交差点のようになっているところがある。  
その前後にある信号を連動すれば、スムーズに通行できると思うのだが、警察との交渉を町として進めてもらえないか。

**答** 東谷建設課長  
現在それぞれの信号機は、国道交通量に合わせた適切なタイミングで調整しているとのこと。また、一般的に商業施設においては、混雑する時間と全く出入りの無い時間があり、これを国道交通に支障なく、信号機により調

整することは困難である。

## ピクニック公園の入口に駐車スペースを増設して欲しい

〈産業観光課長〉  
既存の駐車場を利用してほしい

**問** ピクニック公園の入口付近に、比較的小さい子ども遊ぶ遊具を置いてある公園がある。その向かいにある、日頃あまり利用していない現在進入禁止にしてある部分を4、5台でも停めることができるように解放してもらえないか。

**答** 歌産業観光課長  
中途半端な整備は、かえって駐車マナーの悪化を助長しかねない。すでにある駐車場で約300台駐車可能と見込んでいる。町民の健康増進という公園施設の主旨をご理解の上、既存の駐車場を利用していただきたい。

**答** 五軒家町長  
駐車場を設置しているので、指定の場所に駐めてほしい。  
ピクニック公園の基本理念は健康的な場作り、また親子の絆の場。親が子どもを抱いて、あるいは手を引いて、あるいは手を引いて張って行くのが絆を深めるのではないか。

## 町産材の復興住宅を事前に準備できないか

〈企画防災課長〉

検討しておくことは必要

今回の被災地復興住宅事業は、中央のハウスメーカーやゼネコンに仕事を発注するケースが殆どで、結果的に被災地以外の雇用が中心となっている。更にはプレハブや外材を用いることで、都市部や海外へ資金が流れてしまっている。

**問** 町産材を使った木造復興住宅を事前に設計、建設して、災害時に即座に対応できるように準備できないか。

**答** 企画防災課長  
建築費に係る財源や場所、建築後の管理面では課題がある。当町には高台のまぜのおかにコテージを有しており、災害時には十分活用できると考えている。災害に備えて、建築可能な場所をあらかじめ検討しておくことは必要である。

一般質問

海陽町議会では、総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会を設置しています。  
 本会議から付託された議案を6月11日、12日、13日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

## 総務常任委員会

**基金残高32億8756万円**

委員長 池下 嘉郎  
 6月11日開会。所管の議案および要望、陳情書について審議した。

専決処分の承認を求めることについて。平成23年度一般会計補正予算5億669万円を追加し、76億987万円とする。地方交付税が主で、5億5268万円であり、歳出では、諸支出金の基金補正額

防災課に分ける。また住

民人権課と環境衛生課を統合し住民人権環境課とし、7月1日より施行する。  
 平成24年度一般会計補正予算11億6609万円を追加し、72億7389万円とする。主に少

子化対策財源の子どもあゆみ基金創設に、財政調整基金より10億円繰入するとのことである。歳出の、非常備消防費の89万円は、郡消防操法大会で浅川分団、海部第二分団が優勝し、県大会に出場するため。

## 文教厚生常任委員会

**医療費助成15歳まで拡大**

委員長 長岡秀一郎

6月12日開会。提出議案10件、陳情書1件について協議を行った。

デイサービスセンターさつき荘・城山荘を巡視。雨漏りやシロアリ被害で改修が必要となっており、統合運営が可能ではないかとの話しもあった。利



屋上への津波避難訓練（海陽中学校）

用者にとって便利で効率的な運営を、今後も委員会として協議していくこととした。

子どもあゆみ条例は、子どもの将来に希望が持てる町づくりを目指すことを目的とする条例。

併せて、子どもあゆみ基金条例は、少子化対策を推進するため10億円の

基金を積み立てる条例。なもの、海南小・海陽乳幼児等医療費の助成 中学校津波避難路階段に関する条例の一部改正 設置、各202万円。浅は、対象年齢を12歳から 川粟ノ浦公民館修繕費120万円。文化振興費（国民文化祭負担金等）



ダイサービスセンター城山荘巡視

1200万円。宍喰図書館雨漏り修繕費81万円等である。

ては、原案通り承認をした。人権救済機関設置法案に反対する意見書提出についての陳情書は、継続審査とし、引き続き内容を精査することとした。

## 産業建設常任委員会

### 神野橋架替工事の事業化

委員長 高島 武夫

6月13日開会。

海陽町ふるさとの水を守る条例では、目的・定義・水源保全地域の指定・許可または不許可の決定・審議会組織・違反者の公表・経過措置等の説明を受けた。

平成24年度海陽町一般会計補正予算の主なものは、とくしま明日の農

林水産業づくり事業補助金269万円は、宍喰漁協フォークリフト・鞆浦漁協ドック用台車補助。道路橋梁費委託料

2400万円は、神野橋架け替え工事の予備設計費2300万円など。また神野橋架け替え工事は道路整備交付金（国費50%）で行われる。

その他として、すぎのこ市場の売り上げ、南阿

波よくばり体験予約状況、ホテルリビエラしんくいESCO事業の導入、鞆浦漁協冷蔵冷凍庫施設などの説明を受けた。

以上、所管の議案については、異議なく了承し閉会した。



海部川

活動内容を教えてください。

仕事の前後、休日にサーフィンをしています。メンバーは約30人で、女性もいます。また、月1回海岸清掃（海部川河口付近）もしています。

海陽町のいいところは？

自然がたくさんある。人があたたかい。



今日の波は？



毎月必ず行う海岸清掃



KAIFU BOYS（海部ボーイズ）

海陽町に対する要望はありますか？

仕事がない。若者が少ない。  
穴喰の大手海岸を、もっと安全にサーフィンができるようにしてほしい。

議会だよりを読んでいますか？

読んでいます。もっと写真を多くしてほしいです。

編集後記

6月議会において、議会広報編集特別委員会も新しい体制で取り組んでいくようになりました。メンバー的には1名の変更ですが、今までより字数を減らし読みやすく、議会の取り組みを忠実に分かりやすく、皆様にお知らせするという理念に基づいて発行いたします。

いろいろと不備な点もあるかと思いますが、町民の皆様の声をぜひお聞かせください。委員一同、2年間がんばってまいります。

（叶岡）

議会広報編集特別委員会

議事事務局

TEL 七三〇一六四

◎ 叶岡 徹

○ 長尾 正大

戸田眞理子

三浦 茂貴

原 ひろみ

小山 慎

◎ 委員長  
○ 副委員長

